

(内閣府仮訳)

第6回東アジア家族に関する大臣フォーラム

「家族に優しい社会環境の創造」

ソウル、韓国

2014年12月3～5日

ソウル宣言：

2014年EAMFFにおける大臣及び首席代表による共同声明

序

我々、家族政策に関する大臣及び首席代表は、ブルネイ、カンボジア、中国、インドネシア、ラオス、マレーシア、日本、フィリピン、韓国、タイ、東チモール、ベトナムから、2014年12月3日から5日まで、韓国ソウルで開催された第6回東アジア家族に関する大臣フォーラムに集い、市民の生活の質の向上を促進し、仕事と家族の調和を図る、家族に優しい社会環境を創造するための計画について、議論を行った。このフォーラムが、仕事と家族の調和の推進と家族に優しい社会環境の創造において、顕著な進捗と努力を表すことを認識し、我々は、次のような合意に達し、共通の目標の達成に向けた、強い意志と協力、特定の行動を求める。

東アジアにおいて、家族はこれまで常に生活の最大の様式であり価値であること、及び、将来における持続可能なアジア・コミュニティの創造に向けて重要な役割を果たし続けることを認識し、

東アジア各国において、家族が独自の宗教、文化的伝統、社会的規範及び特徴的な状況を持つことを尊重し、

男女共同参画及び女性のエンパワーメントが家族及び社会の幸福の向上のために不可欠であり、親の責任の共有が社会における女性の完全な参画に重要であることを認識し、

国際結婚及び移住に起因する家族の課題が、東アジア・コミュニティ全体に共通した注目に値するものであることに同意し、

生涯にわたる家族のケア及び仕事と家族の調和が、経済活動における女性のより積極的な参加、人口の高齢化及びより良い生活への要求の帰結として、顕著な社会問題となること、及び、家族に優しい社会環境の創造がそれらへの解決の手がかりとなることを理解し、

職場における、効果のない仕事と家族の調和に関する政策、長時間労働及び硬直的な組織文化により、並びに、コミュニティ・レベルでの家族のケアへの不適切な支援及

び連帯の弱体化により、我々の社会において、家族に優しい環境がいまだ完全に達成されていないことに懸念を表明し、

家族が安全で幸福な生活を享受できる家族に優しい社会環境が、仕事と家族の調和の推進と、家族のケアへの社会的な支援の拡大により創造され、それにより、家族がより質の高い生活を享受することを可能にし、持続可能な社会開発が確保されることを期待し、

我々、大臣及び首席代表は、第6回東アジア家族に関する大臣フォーラムにおいて、以下のことを決意する。

1. 仕事と家族生活の調和のため、家族、会社、コミュニティ及び政府が、家族に優しい社会環境の創造の価値を共有するよう推奨し、
2. 家族に優しい職場及びコミュニティを創造し、及び、関連する財政的及び人的な資源を確保する、政策の作成及び実行への我々の取組を強化し、
3. 雇用者が、柔軟な労働時間協定、出産・育児休暇、職場における子育て施設、家族介護休暇及び被用者支援プログラムを含む、家族に優しい職場政策を実施し、強化すること、及び、家族に優しい職場文化の創造による被用者の仕事と家族の調和を確保することを推奨し、
4. コミュニティが、家族のケアのための家族に優しいインフラの構築すること、カウンセリング及び教育サービスを提供すること、子ども、女性及び高齢者が暴力から保護される、安全な環境を構築することを促進し、
5. 家族の構成員が、家族の時間及び活動を楽しむことを可能にし、及び、健康的な家族生活及び子どもに優しい環境に対し出現する脅威である、サイバー空間における有害な要素から子どもを保護する政策を開発し、
6. 学校教育において、家族の価値の意義を導入することにより、若い人々が家族の価値を評価することを支援する重要性を認識し、
7. 貧困及び欠乏の状況で生活する家族を含む、脆弱な家族を支援する社会的なセーフティ・ネットを強化し、
8. 男性が、家族のケア及び家事に積極的に参加できるよう、男性の仕事と家族の調和及び積極的な男性のロール・モデルを支援し、
9. 東アジア各国の間で、その多文化的な家族構成員が、その正当な権利を享受し、及び、そのコミュニティの間において調和した生活を送ることを認める、持続可能な

協力とパートナーシップの構築に努力し、

10. 家族政策、調査及び優良事例に関する情報を共有し、保管する、EAMFFメンバー間のネットワーク及び協働を促進し、

11. 家族に優しく、男女平等な社会の創造に、一層効果的に貢献するため、2016年に東アジア家族に関する大臣フォーラム及び東アジア男女共同参画大臣会合を統合することに合意し、

12. 東アジアの国々が利用しうる、家族に優しい社会環境の創造に関する国際的な指標を策定するため、及び、2016年11月にタイで開催される次回フォーラムにおいて議論されるべく、調査を開始するための提案を支持する。

結論

我々は、高級実務者に対し、この宣言をフォローアップする職務を課すことにより、東アジアの参加国間の継続した政策の共有及び協力を通して、家族に優しい社会環境を構築するための共同的努力を払うことに同意する。

我々は、この意義のあるフォーラムを主催した韓国政府に感謝し、その暖かいもてなしに心からの謝意を表明する。我々は、2016年にタイで開催されることになる次回フォーラムにおいて、再会することを期待する。